

家庭訪問支援員等児童相談業務担当者研修 開催要領

1 事業目的

本事業は、各市町村における乳児家庭全戸訪問事業や養育支援訪問事業等により家庭訪問支援を実施する保健師、家庭児童相談員、母子保健推進員等を対象に専門的知識の習得と資質の向上を図る。もって市町村の体制強化に繋げ、ひいては児童福祉の向上に資することを目的として実施する。

2 主催

沖縄県 公益社団法人沖縄県小児保健協会

3 対象者

- ア 市町村家庭相談業務担当職員
- イ 乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業等各市町村における家庭訪問支援業務で家庭を訪問する者
(保健師、助産師、看護師、保育士、母子保健推進員、子育て経験者、ヘルパー等)
- ウ その他各市町村で研修の受講が必要と認めるもの

4 日程等

- (1) 乳児家庭全戸訪問事業等家庭訪問担当者研修
 - 期日 令和元年7月29日(月)～令和元年7月30日(火)
 - 会場 沖縄小児保健センター (南風原町字新川 218-11)
 - 受講者数 75名
- (2) 養育支援訪問事業等家庭訪問担当者研修
 - 期日 令和元年7月31日(水) 13時30分～令和元年8月1日(木)
 - 会場 沖縄小児保健センター (南風原町字新川 218-11)
 - 受講者数 75名
- (3) 特別研修
 - 期日 令和元年7月31日(水) 09時25分～12時
 - 会場 沖縄小児保健センター (南風原町字新川 218-11)
 - 受講者数 120名

5 研修内容

- (1) 乳児家庭全戸訪問事業等家庭訪問担当者研修
 - ①乳児家庭全戸訪問事業の概要
 - ②市町村母子保健事業について
 - ③赤ちゃんの発育、発達について
 - ④個人情報保護
 - ⑤面接技法について グループワーク・ロールプレイ
 - ⑥市町村実践報告
 - ⑦産後の母子の健康
 - ⑧児童虐待の現状と課題
 - ⑨傾聴とコミュニケーション技法 グループワーク・ロールプレイ

(2) 養育支援訪問事業等家庭訪問担当者研修

- ①【情報交換】事例を通して養育訪問支援を考える
- ②【情報交換】に対する助言
- ③養育訪問支援事業の実際
- ④個人情報の保護
- ⑤児童虐待の現状と課題
- ⑥傾聴とコミュニケーション技法 グループワーク・ロールプレイ

(3) 特別研修

- ①(仮)沖縄県における家庭訪問事業等の現状について
- ②(仮)養育訪問支援事業の意義

6 参加費

無料

7 問い合わせ先

公益社団法人沖縄県小児保健協会
〒901-1105 南風原町字新川 218-11
☎098-963-8642 fax098-963-4402
✉ kodomo@osh.or.jp